

流域の概要

土岐川下流域では、過去から多くの浸水被害に見舞われ、平成23年9月台風15号豪雨災害でも、**床上439戸、床下183戸**（多治見市全域）の浸水被害が発生。

- 近年の局地的ゲリラ豪雨の顕著化、甚大な水害の多発
- 多治見市における浸水被害の発生回数は、

- ・過去（S54～H25）の35年間で10回の浸水被害が発生
- ・特に近年のH12年9月恵南豪雨、H23年9月台風15号豪雨は床上浸水被害が約10年間に2回も発生した。

・地目別土地面積 森林 4,535ha(S57)→ 4,446ha(H22) **約2%減少**
 宅地 1,074ha(S57)→ 1,767ha(H22) **約1.65倍**

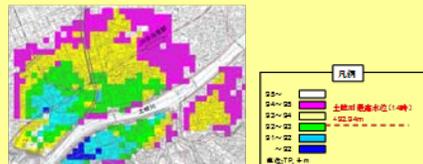
- ・下水道整備率（雨水：1/7 計画50mm）：現況59.7%
- ・河川整備率（1/20 計画71mm）：現況6.3%

岐阜県多治見市
土岐川下流域



【浸水被害の主な要因】(H23.9台風15号豪雨) 降雨量(mm/h)

- 非常に激しい雨が数時間にわたって発生
- 地形的要因により雨水が集中しやすい地域特性



多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会 (H23.12.12～)

組織	部局
国関係	庄内川河川事務所、多治見砂防国道事務所、岐阜地方気象台
県関係	河川課、下水道課、多治見土木事務所
市関係	企画部、都市計画部、建設部、水道部
地元住民	多治見市11区、12区、26区
学識経験者	名古屋工業大学教授、岐阜大学教授

H23.9.20 浸水面積39ha
床上浸水439戸
床下浸水183戸

①田代町、前畑町周辺

②平和町周辺

雨水貯留槽設置

ポンプ増強

ポンプ場増設

河川改修

ポンプ場新設

下水道事業 ●
河川事業 ●
道路事業 ●

浸水区域 ■
合流区域 □

取組内容

<計画期間：平成25年度～平成29年度>

- 河川整備 川幅を広くする、川底を掘りさげる、堤防を高くする等の河川改修を行い雨水を安全に流せるようにします
 - 排水対策 ポンプ場の新設や増強、排水路の整備を行いすみやかに雨水を河川に排水します
 - 流出抑制 調整池の新設や、既設調整池の改修を行い雨水の流出量を抑制します
 - 浸水被害軽減対策 水害意識の啓発や避難対策等を行い浸水被害の軽減に努めます
- ※対策全体で47施策65対策を実施予定

対策効果

平成23年台風15号豪雨相当の降雨に対し床上浸水を概ね解消する。